

給食だより 1月

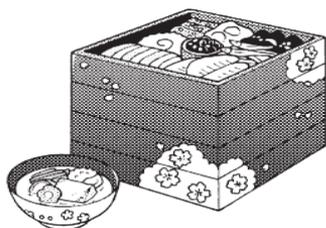


あけましておめでとうございます。

冬休みも終わり1月7日から学校が始まりました。今年の冬は寒さが厳しく、雪も多いと予想されています。好き嫌いをなくしっかり食事を摂って、元気に新年をスタートしましょう！



お正月のおせち料理と鏡もち



お正月は幸せや豊作をもたらすその年の神様を迎える年中行事として、昔から大切に祝われてきました。おせち料理には、年神様(お正月になると各家々にやってきて、その家のその年1年を守る神様)をもてなして、共にいただくものとして、さまざまな意味や願いが込められています。

丸く平たいもちを重ねた鏡成ちは、年神様にお供えするものです。もちの上のみかんを飾る家庭も多いと思いますが、正式には「だいたい」という果実を飾ります。だいたいは冬が過ぎても実が落ちないため、「代だい(だいたい)家が繁栄するように」という願いが込められています。



1月24日から30日は全国学校給食週間です！

明治22年に始まった学校給食は、戦争により一時中断しましたが、アメリカのLARA(アジア救済公認団体)等の物資援助を受けて再開されたそうです。昭和21年12月24日に給食用物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」と定め、その後、給食の意義や役割についての理解や関心を深める週間として、冬休みに重ならない1月24日から30日が「全国学校給食週間」になりました。

ろう学校ではこれに合わせて地元食材を使用したり、郷土料理や外国の料理などを実施したりします。いつも食べられる給食に感謝しながらいただきますよう。



能登牛を活用した給食を実施します！



学校給食で活用することにより、外出や旅行の自粛により消費量が減少した能登牛の需要を喚起して生産者の方々を応援することなどを目的に実施されることになりました。

能登牛の条件のひとつに石川県内での飼育期間が最長で石川県内が最終飼育地という条件があります。潮風が吹く素朴な風土で丹精込めて育てられた上品できめ細かな肉質の能登牛に感謝しておいしくいただきますよう！